

清水山城(国史跡)(対馬市厳原町西里)

清水山城（しみずやまじょう）は、安土桃山時代に現在の長崎県対馬市厳原町西里の清水山（標高 206m）に築かれた城である。国の史跡に指定されている。

豊臣秀吉が文禄・慶長の役に際して本陣の名護屋城から朝鮮への経由地となる壱岐と対馬に兵站基地となる城を築くことを命じ、厳原の西にある清水山上に毛利高政によって築城されたと伝えられている。現在は一部の石垣のみが残されており、山麓の厳原市街地からも見ることができる。

Wikipedia による

佐賀の名護屋城から壱岐の勝本城、朝鮮半島へ続く兵站として対馬に築かれた山城で、国の史跡に指定されている「清水山城跡」。尾根に沿う形で、山頂から順に一の丸・二の丸・三の丸の石垣が残されています。

三の丸からは厳原市街地と厳原港を一望できます。対馬観光物産協会から三の丸だけ往復することもでき、登り 20 分、下り 15 分ほど。

対馬観光物産協会による



三の丸



一の丸（本丸）